

〈報道資料〉

2025年1月21日

PR68-H01

モルテンの車いすクッション『パワークッション』 第19回 日本シーティング・シンポジウムで症例として発表

株式会社モルテン（本社：広島市西区 代表取締役社長：民秋清史、以下、モルテン）は、医療・福祉機器事業で展開する車いすクッション『パワークッション』を使用した症例が、12月14日(土)、15日(日)に東京都立大学 荒川キャンパスにて開催された第19回 日本シーティング・シンポジウムにおいて、二例発表されたことのお知らせします。

日本シーティング・シンポジウムとは、特定非営利活動法人 日本シーティング・コンサルタント協会が主催しており、シーティング（座位姿勢や座る環境）に関する専門的な知識や技術を共有し、最新の研究成果や実践事例を紹介する学術的イベントです。



■ 発表内容

① 教育局によるセッション(*1)「生活を視る、褥瘡のシーティング」（市立奈良病院 溝井 昌子先生）
ポケットを伴う皮下組織に至る褥瘡を有する脊髄損傷の患者様において、車いすクッションを『パワークッション』に変更することで、その後4か月でポケットが縮小した、という症例が発表されました。（車いすクッションの変更の他にも、車いすの調整、生活リズムの見直し、体調の変化など、多角的なアプローチを実施されています。）

（※1）日本シーティング・コンサルタント協会の教育・研修事業を担当する『教育局』が主催するセッションで、事例検討を行いながら、共に褥瘡対策のシーティングを考えるセッションです。

② 一般演題 セッション2 困難事例(*2)「A-5 頸髄損傷者の難治性褥瘡への車椅子座位に対する介入—ダイナミック型クッションの使用が有効であった症例—」（神奈川リハビリテーション病院 平松 優香先生）

褥瘡の再発を繰り返していた脊髄損傷の患者様に対し、座圧計測で良好な結果が得られた『パワー

クッション』に変更した結果、車いす座位の時間が確保され、起立性低血圧を悪化させることなく褥瘡の治癒と再発予防に繋げることが出来た、との症例を発表されました。（陰圧閉鎖療法などの治療も実施されています。）

(※2) 一般の参加者が、自身の研究や活動内容を紹介する場である一般演題の中で、困難事例（現場で直面した難しいケース）について紹介・共有するセッションです。

■ モルテン 医療・福祉機器事業について

ブランドステートメントに“From the Inside Out”（フロム・ジ・インサイド・アウト）を掲げ、「内から外へと広がる豊かな人生と、健康で安心して暮らせる社会のために」、医療の最前線で活躍する特殊なマットレス、生活動作を支援する手すり、段差解消のための昇降リフト、そして、外に向けて動き出すクルマイスなど、医療や福祉の現場で必要とされる製品を開発し供給しています。大学との共同研究や人材交流はもちろん、学術的アプローチによる専門性の高い営業活動により、製品（モノ）だけでなく、それが生み出す様々な価値（コト）を提案し続けています。

モルテン 医療福祉機器事業 公式サイト：<https://www.molten.co.jp/health/>

■ 株式会社モルテン 会社概要

競技用ボールと自動車部品の製造・販売に始まり、内部の空気圧を調整する「中空体技術」と、ゴム・樹脂などの高分子素材を扱う「高分子化学」の2つのコア技術を活用して事業を拡大してきました。

現在では、競技用ボールをはじめとするスポーツ用品事業や自動車部品事業のほか、医療・福祉機器事業では、製品開発と学術研究の両面から社会貢献を担い、マリン・産業用品事業では、浮桟橋や橋梁用ゴム支承のほか社会基盤を構成する要素を製造・販売するなど、様々な分野で可能性を追究し続けています。

所在地：広島県広島市西区観音新町四丁目 10-97-21

設立：1958年11月1日

代表者：代表取締役社長 最高経営責任者 民秋清史

資本金：3億1,614万円

従業員：単体 675人、海外を含むグループ 3,100人（2024年9月現在）

社名由来：molten とは melt の過去分詞で、“溶解する、鑄造する”という意味に加えて、“古いものから新しいものに脱皮する”という意味を持っています。

URL：<https://www.molten.co.jp/>

読者お問い合わせ先

株式会社モルテン 営業本部 03-3625-8510

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

E-Mail：molten_pr@molten.co.jp